Mac を Mail Server にするには

——AIMS の使い方——

工学部分子化学工学科　仁科辰夫
nishina@est.che.tohoku.ac.jp
医学部第一内科　古関義人
i22868@cctu.cc.tohoku.ac.jp

1　はじめに

Eudora-J の項で書かれているように，メールアドレスはあなたが使っている Mac のアドレスではありません。メールは，

[自分の Mac の Client 用ソフト (Eudora)] ↔ [自分のユーザ・アカウントのある Server(Mail Server & POP Server)] ↔ [相手の Server] ↔ [相手の Client ソフト]

の経路で送られます。

自分のメールアドレスは，ユーザアカウント名 @ サーバー名となります。つまり，メールアドレスを持つには，自分の側の Mail Server，POP Server があって，そこに自分のユーザ・アカウントが登録されている必要があります。

Mac で Mail Server，POP Server を作るには，24 時間稼動している Mac で，AIMS(Apple Internet Mail Server) を動作させておきます (図 1)。UNIX の MailServer の Macintosh 版と考えてください。Client としては Eudora を使用します。UNIX のメールサーバーを使う場合とまったく同じと考えて結構です。AIMS は，以前は MailShare として知られていたメールサーバープログラムですが，Apple 社に買収され，AIMS と名称が変更になりました。現在の version (1.0) は MailShare 1.0fc6 と内容が同じようで，POP3 (Post Office Protocol 3)，SMTP に対応しているフリーソフトです。

http://abs.apple.com/products/mailserver.html

から FTP できますが，いずれ Apple 社より商品化される予定です。

AIMS を動かす Mac は，TAINS につながっていて，MacTCP が正しく設定されていること，及び各部局のドメインネームサーバー (DNS) にホストとして登録されている必要があります。 Eudora を使う Mac と同じでも，別でも動作可能です。アカウントの登録は，AIMS の動いている Mac で行い，自分でアカウント名とパスワードを決められます。転送 (forwarding) 指定，ファイルへの保存，メールリストへの転送，Eudora によるパスワード変更などもできます。なお，Client 側の Mac は DNS に登録する必要がありません。 AIMS を動かす Mac のみが DNS に登録されていれば良いのです。

AIMS の動いている Mac が，DNS に A.B.tohoku.ac.jp のホスト名で登録されていて，AIMS 上でアカウント名を C にした場合，メールアドレスは C@A.B.tohoku.ac.jp となります。 Eudora では，POP アカウント C@A.B.tohoku.ac.jp，SMTP サーバー A.B.tohoku.ac.jp に指定します。

サーバープログラムとしては，他に WWW サーバー用の MacHTTP，DNS サーバー用の MIND，Gopher サーバー用の GopherSurfer，FTP サーバー用の FTPd などがあります。これらの詳細は宮崎医科大学の WWW サーバー

`http://www.miyazaki-med.ac.jp/MMC-HP.html`

に詳しく解説されていますので，そちらをご覧下さい。 MailShare は，しばらくは free ware として存続するようです。 Power Application にしたりという作業が残っていますので，おそらく Upgrade したときに有料になるのではないかと考えられます。 MIND の方は，Apple 社が MacDNS という名称を買い取ったことから，MIND は MIND として残るでしょう。 MacDNS は Apple 社が開発を進めている DNS アプリケーションで，開発者向けに最近公開され，かなりの完成度になっているようです。それによりますと，QuickMail のようなかたちで設定ができるのだということです。

では，AIMS の具体的な設定方法を解説しましょう。

2 AIMS の起動

AIMS の稼動する Mac が DNS にホストとして登録されていれば，AIMS を起動したときの Debug window には domain name が Returned name: 欄に表示されるはずです (図 1)。そうなっていれば，DNS への登録は OK です。

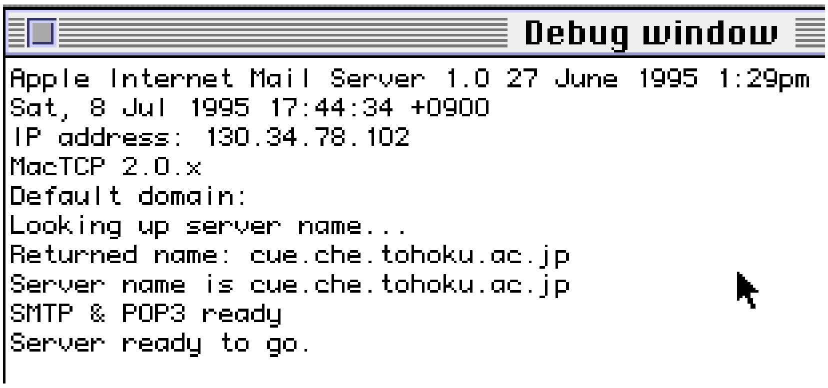

図 1: AIMS を起動した状態

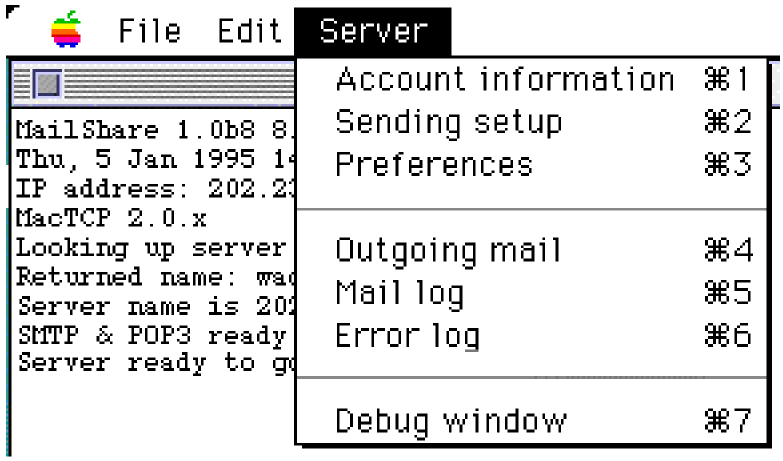

図 2: Server メニューの選択

3　ユーザ・アカウントの設定

3.1　通常の設定

Server メニューから Account information を選ぶ (図 2)。

通常のユーザ設定は，図 3 のように User name: にアカウント名，Password: にパスワード，Full name: にユーザの氏名，Size limit(k): にユーザに許可する HDD の記憶容量 (0 は無制限) を入力するだけ。Forwarding: は No forwarding にしておく。また，Account enabled: と Login enabled: をチェックする。Require APOP: と Master privileges: はチェックしません。

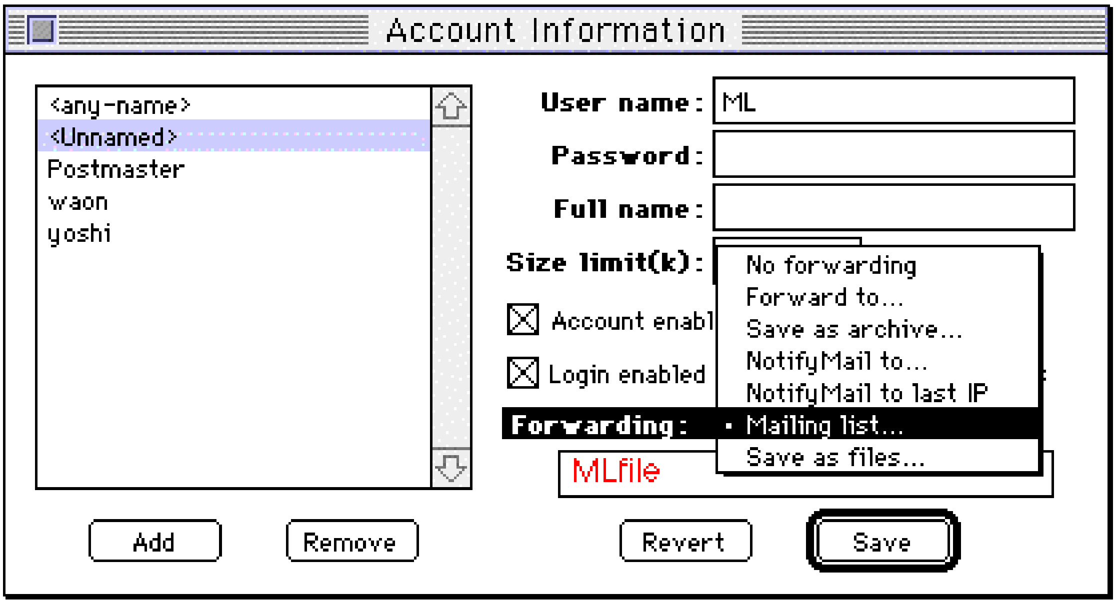

図 3: アカウントの設定

3.2 メーリング・リストの設定

図 3 のように，User name: に mailing list のアカウント名を入力します。 Forwarding: は Mailing list を選びます。すぐ下のボックスにメール配布先を記入したテキストファイルのファイル名を入力します (図 3 の例では MLfile)。このテキストファイルは，システムフォルダ内に自動的に作られる Mail Folder という名前のフォルダ内に入れて下さい。メール配布先の記述法は，メーリング・リスト参加者の e-mail address を列記しただけのものです。

4 Sending setup

Domain: には *(wild card を意味する) を， Route: は none を選択します (図 4)。

5 Preferences

Server names に AIMS の稼動するマシンの所属する DNS に登録された domain name を記述します (図 5)。例えば，AIMS の稼動するマシンのホスト名. 所属ドメイン名.tohoku.ac.jp という形式で記述し，Default ボタンを押して，それを Default server name にしたほうが良でしょう。 AIMS の稼動するマシンが DNS に登録されていれば，自動的に DNS に登録された domain name が Server names 欄に表示され，Default にな

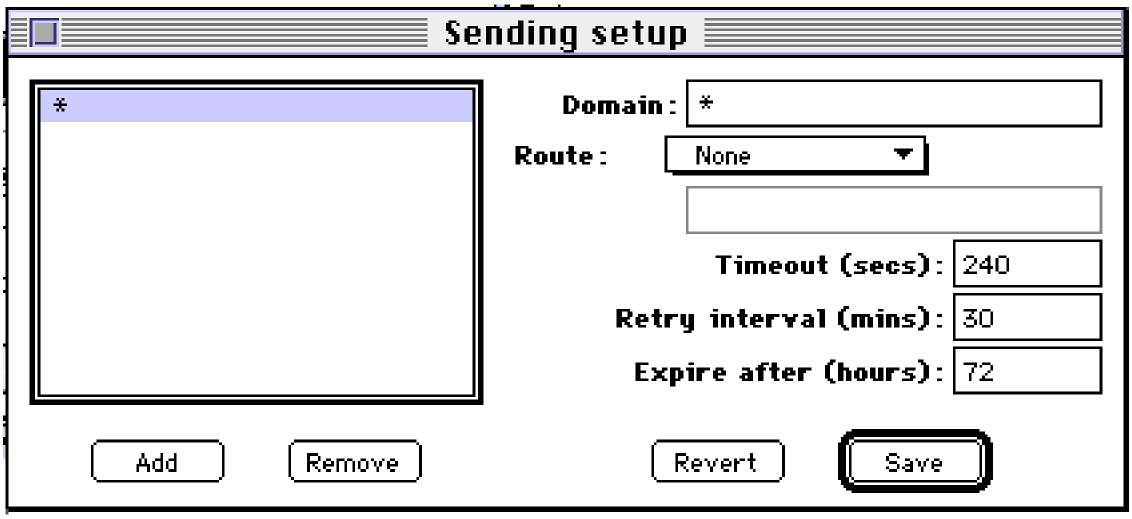

図 4: Sending setup の設定

ります。 Server names にいくつも記述できる理由は，AIMS の稼動するマシンのホスト名の別名が DNS に登録されており，その別名を使いたいときに対応するためです。Server names が IP address の場合は Eudora 側でトラブルのもとになるようです。他の項目は default の設定のままで，特にいじる必要はありません。

6　自動的に作られるファイル

AIMS が起動すると，システムフォルダ内の初期設定フォルダに各種のログファイルが自動的に作られます (図 6)。また，特殊なフォルダ (Mail Folder という名称) がシステムフォルダ内に作られ，その中に mail の spool や，アカウント別のメール保存用のファイルが作られます。この Mail Folder の中に mail list 用のテキストファイルを置きます。

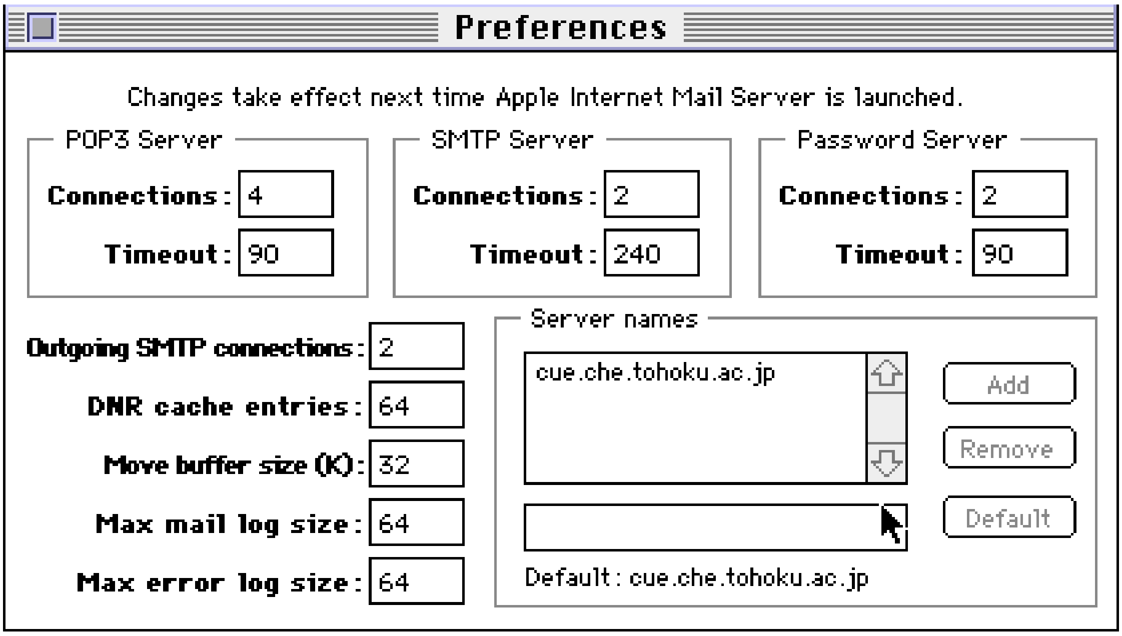

図 5: Preferences の設定

図 6: 自動的に作られるファイル